

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

【ベネッセHDの大きな決断】

先般11月10日、当社コモンズ30ファンドの投資先である株式会社ベネッセホールディングスより、同社の創業家がEQTグループ（スウェーデンに本社を置くプライベート・エクイティ投資会社）と共同で実施するMBO（マネジメント・バイアウト）を行うことが表明され、同社の取締役会も賛同されました。MBOは、「経営陣による買収」などと訳され、企業の経営陣が株式や事業部門を買い取ることを通じて経営権を取得し、株式を非公開化して抜本的な改革に取り組むことに使われる手法です。

今回の同社のMBOも教育事業を「第一の創業」、介護事業を「第二の創業」に続く、世界中のあらゆる世代が同社の企業理念である「よく生きる」ためのグローバル・プラットフォームとなることを実現する「第三の創業」を目指した抜本的な改革を決意されたものです。

非上場化は、本当に大きな決断だったと思います。この決断に対する当社の対応については、先日、リリースを出させていただきました。

○「株式会社ベネッセホールディングスの公開買付け」のニュースに対する当社の対応について（本レポートP6参照）

<https://www.common30.jp/customer/3271/>

大きな状況の変化がなければ来年2月半ばくらいにコモンズ30ファンドから同社の株式の組入れはなくなる予定です。

2011年7月から投資をしていますので、株主として企業価値の向上に携わることがなくなることは寂しい限りですが、教育、介護というとても大きな社会課題に取り組む同社の改革には注目を続けていきたいと思っています。

今年は、同社他、大正製薬、シダックスが同様にMBOを発表し金額ベースで1兆円を超え、過去最高になりました。

こうした資本市場のうねりは産業を活性化させていくことになると思っていますし、日本の資本市場もダイナミズムが出てきたと感じています。

私たちは、引き続き、当ファンドを通じて企業の長期的な価値創造に貢献していきたいと考えています。引き続き、ご期待ください。

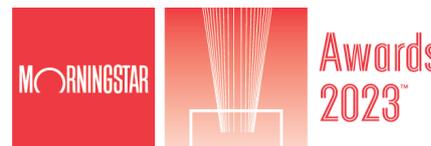


代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

■格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2023」
投資信託10年／国内株式コア カテゴリー 優秀ファンド賞
2年連続受賞！



■第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」日本株式部門 最優秀賞 受賞！



Morningstar Awards2023©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.
コモンズ30ファンドが日本の国内株式部門のモーニングスター・ファンド・アワード最優秀賞を受賞



基準価額の推移

2009年1月19日 ~ 2023年11月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、純資産総額が500億円までは年率1.078%（消費税込）、500億円を超える部分は年率0.979%（消費税込）、1,000億円を超える部分は年率0.869%（消費税込）、3,000億円を超える部分は0.748%（消費税込）となります。



運用実績

2009年1月19日 ~ 2023年11月30日

基準価額

45,712 円

(前月末比)

+2,953 円 (6.91%)

純資産総額

525.7 億円

(前月末比)

+36.9億円 (7.56%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	6.91%
3ヵ月	△0.75%
6ヵ月	6.88%
1年	18.91%
3年	39.77%
5年	66.06%
10年	156.52%
設定来	399.01%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
2023年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	95.9%
その他	4.1%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	16.3%
ウェルネス	15.7%
生活ソリューション	12.1%
資源・エネルギー	10.3%
快適空間	9.2%
新素材	8.8%
地球開発	6.9%
未来移動体	6.8%
ライフサイクル	6.0%
社会インフラ	3.8%
その他	4.1%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	5.2%
2 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.3%
3 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.2%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.1%
5 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.1%
6 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	3.8%
7 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	3.8%
8 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.7%
9 コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.6%
10 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.6%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。
 ※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 ※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

11月のファンドの月間リターンは+6.91%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

11月の内外株式市場は、米国の金融引締め観測の後退から世界的な株高となりました。特に米国CPI（消費者物価指数）の低下が、米国10年国債利回りの大幅な低下（5%から4.2%へ）につながり株価を押し上げました。国内株式市場は、加えて23年度7-9月期決算が堅調だったことが上昇要因となりました。業種別では東証33業種で、精密機器、電気機器、サービス業が騰落率上位、パルプ・紙、鉱業、銀行業が下位となりました。また、ベネッセHD、大正製薬HD、シダックスなどの大型のMBO（マネジメント・バイアウト）が発表され、東芝も臨時株主総会で非上場化が承認されました。

当ファンドは、月間で6.91%の上昇、投資先31銘柄中25銘柄が値上がり、6銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は5.42%、日経平均株価は8.52%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、95.9%と前月比▲0.7%の低下となりました。個別銘柄の月間騰落率ではベネッセHD+46.15%、堀場製作所+31.76%、ディスコ+22.69%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。特にMBOを発表したベネッセHDの上昇が大きくなりました。下位3銘柄は、資生堂▲16.72%、日揮HD▲9.80%、KADOKAWA▲7.64%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は信越化学、ディスコ、日立製作所、堀場製作所、東京エレクトロン（銘柄コード順）の5銘柄、年初来高値を更新した銘柄は8銘柄ありました。なお、当月はカカクコムを全売却しポートフォリオから外しました。また、9月から組入を開始した銘柄は、組入比率が一定の比率に届いていないことから引き続き銘柄名は非開示とさせていただきます。こうした結果、投資銘柄数は31銘柄となっています。ベネッセHDのMBOにつきましては、巻頭の渋澤と伊井の想い、本レポートのP6を参考にしてください。

当面の国内株式市場は、米国の金融引締め観測の後退を受けて堅調な相場展開が期待されます。また、2024年1月からの新NISAのスタートにより市場に流入する資金が安定的に拡大し、相場を下支えしていくものと考えています。引き続き、丁寧な調査・運用を継続していきます。どうぞ、ご期待ください。

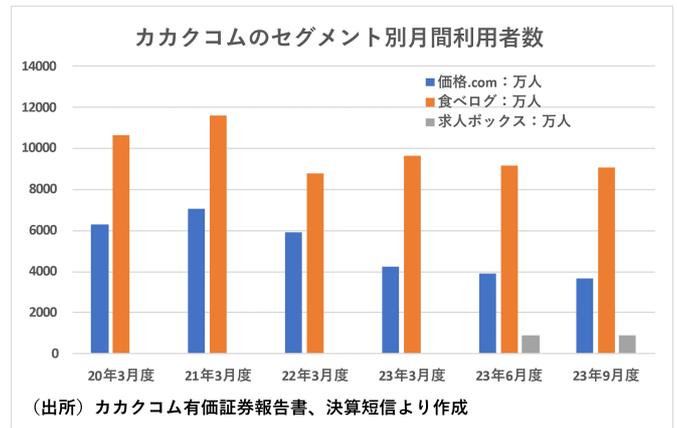
最高運用責任者 伊井 哲朗

◎カカクコム売却理由

コモンズ30ファンドにおいて、カカクコムを2012年3月以来組み入れてきましたが、この度売却となりました。コモンズ投信が30年目線で投資する際に大切にしている5つの軸（収益力、競争力、経営力、対話力、企業文化）において、競争力が以前に比べて弱まっているのではないかと考えました。

主力事業の一つである購買支援サイトの価格.comの利用者数が漸減しています。ショッピングにおいて、インターネットでの商品の直接検索やネット通販大手サイトの活用、リユース品市場の広がり、など消費者の購買行動の変化が背景にあるとみています。なお、カカクコムのミッションである、「LIFE with - 生活とともに - （世界にあふれる情報が、一人一人の生活にもっと身近に、溶け込むようにいつもの生活をインターネットでもっと素敵に）」への共感する気持ちはこれからも変わりません。

シニア・アナリスト 上野 武昭



2023年11月次運用報告動画

◆2023年11月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/oqfmkVlrZ68>

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者



※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (6856) 堀場製作所

11月は堀場製作所の株価が31.76%上昇しました。2024年に向けての半導体市場の回復や、自動車計測の需要回復が期待されたことなどが株式市場で好感されたようです。

堀場製作所は11月13日に2023年12月期第3四半期決算を発表しました。売上高は第3四半期累計ベースで過去最高となりましたが、自動車セグメントでの水素関連の成長分野への投資拡大や、全社業績をけん引している半導体セグメントでの製品売上構成のマイナス方向への変化などから営業利益は前年同期比で伸び悩みました。また、足元の円安傾向を反映して通期業績を小幅に上方修正しました。これにより年間でも売上高の過去最高を更新する計画です。

2024年は半導体市場の回復が見込まれていることから、来期の半導体セグメント業績もまた回復が期待され、全社でも過去最高の業績が期待できそうです。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (7267) ホンダ

ホンダは、2023年11月29日電動二輪事業説明会を開催しました。2030年におけるグローバルでの年間販売台数を当初公表値350万台から400万台へ上方修正し、あわせて製品ラインナップ数を30機種とする計画を発表しました。

2025年までは参入フェーズ、2026年以降は市場拡大フェーズと捉えており当面は投資先行となり、現状の二輪事業営業利益率16%程度から低下する見通しですが、2030年以降にはICE(従来の燃料式タイプ)と電動を含めた全体として10%の利益率を目指す方針です。各種機構(バッテリー、パワーユニット、車体)のモジュール化による工程集約、交換式から固定式バッテリーの採用、価格競争力が優位なバッテリー素材への転換等、様々な合理化、企業努力により達成していく見込みです。東南アジア中心にグローバル競争力と販売ネットワークが確立されている同事業が、EV(電気自動車)競争で劣後している日本企業の存在感回復となることを期待しております。

アナリスト 古川 輝之

■ (4911) 資生堂

資生堂が発表した2023年12月期第3四半期決算は、第3四半期までの累計で、売上高は前年同期比5.3%減、コア営業利益は同1.6%増となりました。累計ではわかりにくいのですが、この四半期で業績が急減速しており、通期のコア営業利益予想を600億円から350億円に下方修正したことから、株価は大きく下落しました。この要因としては中国事業の落ち込みが大きく、原発処理水をめぐる不買運動から、中国のインフルエンサーが日本ブランドの取り扱いを敬遠する動きが広まったことで、思うようなマーケティング活動ができなかったというのが会社の見解です。

しかし、中国においては地場の化粧品メーカーが急激に力をつけており、マーケティング活動が再開できれば業績が回復するかというと、そこまで楽観的に見ることはできません。もともと、エリアとして中国に依存し過ぎている点は課題だと認識していましたが、米国、欧州、東南アジアなどにおける成長戦略がこれまでに以上に求められる局面にあると感じています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



「株式会社ベネッセホールディングスの公開買付け」のニュースに対する当社の対応について

2023年11月10日、コモンズ30ファンドの投資先である株式会社ベネッセホールディングスより、同社の創業家がEQTグループ（スウェーデンに本社を置くプライベート・エクイティ投資会社）と共同で実施するマネジメント・バイアウト（MBO）について、同社の取締役会が公開買付けに賛同し、公開買付けへの応募を推奨することを表明されました。本発表を踏まえ、私たちのスタンスについてご説明いたします。

まず、MBOの内容は以下となります。
公開買付けの具体的な条件は、

1. 普通株式1株につき2,600円で公開買付けを行う。
この価格は、公表日前営業日比で45.13%、1ヶ月平均で45.90%、3ヶ月平均で42.39%、6ヶ月平均で41.23%のプレミアム（上乗せ幅）になります。
2. 公開買付け期間は2024年2月上旬としています。

公開買付けにより非上場化するメリットについては、

1. 教育事業におけるデジタル化の促進
2. 教育事業におけるグローバル化の拡大・高度化
3. M&Aの積極的な活用
4. 非公開化に伴う意思決定のスピード化

があると説明されています。

また、以下の同社からの資料の中で、創業家が近年の日本社会における教育や介護の課題が複雑化、多様化していく中で強い危機感を感じ、それに挑む決意が記されています。

福武総一郎氏及び福武英明氏は、現代日本社会の構造的危機に立ち向かい、旗振り役として教育と介護、ひいては日本の将来を牽引することは、社会で広く信頼されているブランド力、夢や理想の実現に向かって歩むお客様に寄り添って成長や課題解決を長年にわたり応援してきた実績、理念を共有する従業員を持つ会社だからこそ可能であると考えていたとのこと。

かかる考えの下、福武総一郎氏及び福武英明氏は、当社をその社会的使命を果たすための成長軌道に再び乗せるとともに、福武哲彦氏による教育事業開始という「第一の創業」、福武総一郎氏による介護事業開始という「第二の創業」に続く、当社の「第三の創業」として、デジタルとリアルの双方の世界において、当社が世界中のあらゆる世代が「よく生きる」ためのグローバル・プラットフォームとなることを実現するためには、現在の延長線上で事業を営むのではなく、教育事業のデジタル化や海外における教育事業の強化、介護事業のM&Aを通じた拡大といった更なる追加施策を推し進める等の大胆な施策の実施によって、当社がこれまで実行・検討してきた事業変革の内容を超えて変革を行うことが必要だという認識に至ったとのことです。（2023年11月10日「MBOの実施の一環としてのブルーム1株式会社による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」より抜粋）。

○株式会社ベネッセホールディングスのプレスリリース
<https://pdf.irpocket.com/C9783/MH4b/viXK/qTQe.pdf>

このリリースが出たのち、公開買付けの内容の吟味、公開買付け価格の適正性の評価、その他情報収集を行ったうえで、私たちコモンズ投信は臨時投資委員会を開催して対応を検討しました。創業家がEQTグループの力を借りて、ベネッセグループ全員で第三の創業に臨む強い決意を感じ、その結果、公開買付け価格も適正な範囲と判断し、今後新たな事象が起こらなければ、同社の意向を尊重して対応することとしました。

さて、私たちは、コモンズ30ファンドを通じて2011年7月から同社への投資を始めています。この13年近い期間を振り返りますと、まずは「ベネッセ」=『よく生きる』との企業理念に共感し、コモンズ30ファンドの5つの軸、収益力、競争力、経営力、対話力、企業文化を評価して投資をスタートしました。

元々は、教育・介護のリーディングカンパニーで競争優位の立場にあった同社ですが、東日本大震災の長引く影響、2014年の個人情報漏洩事件、コロナ禍などのアクシデントを経て、徐々にデジタル化や多様なニーズのある介護への対応が遅れるようになってきました。

こうした状況下、私たちは、抜本的な改革の必要性、第三の柱となるM&Aの必要性について同社と対話を重ねてきました。



このように、私たちやお客様に会社が良い時期も苦しい時期も変わらぬ対話姿勢を持ち続けてくれた同社の株式非公開化は、短期的な株価の急伸にはつながりましたが、出来れば上場維持したまま、改革を進めてほしかったとの思いはあります。それでも今回は、創業家、グループ社員一同の改革に対する想いを尊重し、同社の「第三の創業」として、デジタルとリアルの双方の世界において、同社が世界中のあらゆる世代が「よく生きる」ためのグローバル・プラットフォームとなることに期待したいと思っています。

(※) ベネッセアートサイト直島は、瀬戸内海の島に世界中の子供たちが集える場を作りたいとの思いを抱いていた福武書店の創業社長福武哲彦氏（当時）と、直島に教育的な文化エリアを開発したいとの夢を描いていた直島町長三宅親連氏（当時）の思いが重なったことから生まれたアート施設

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

また、これまでコモンズ30塾や周年イベントなどに同社の経営陣やIR（株式広報）の方々は何度も登壇いただきました。お客様と一緒に、直島（※）でコモンズ30塾を開催し同社の理解を深めるイベントも行いました。いずれも、参加者からは同社の長期的な成長を応援する声を多数いただきました。

個人情報漏洩事件の際には、同社の対応について子育て世代の多い当社のお客様からの声を直接、原田社長（当時）に伝えることもしました。厳しい声と応援する声が半々でした。また、事件直後にIRの方にコモンズ30塾に登壇いただき説明を伺う機会も設けました。



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【コモンズSEEDCap今月のお知らせ】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら

→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

◇今年度コモンズSEEDCap応援先 濱野将行さん率いる一般社団法人えんがおについてはこちら

→ <https://www.engawa-smile.org/>

＼寄付月間2023キックオフイベント、開催しました！／

12月は寄付月間！コモンズ投信もリードパートナー、共同事務局として関わる寄付月間は今年で9年目。今年、毎年恒例のキックオフイベントが12月1日にはじめてハイブリッドの形で開催されました。

4年ぶりの対面の場となるイベント会場、東京大学の「食堂コマニ」には約90名が参加。

オンラインでは全国のみならず海外からも30名ほどの参加がありました。

主催スタッフである共同事務局メンバーをはじめ、リードパートナー、賛同パートナーのみならず、今年は若い層のご参加、寄付月間はじめましてのご参加が多かったことに関係者は嬉しさと驚きを隠せませんでした。

当社会長渋谷もトークセッションに参加。「わたしの寄付は社会のスキマを埋められますか～資本主義における寄付の役割～」をテーマについて、NPO法人WELgee 渡部カンコロンゴ清花さん、一般社団法人 新しい贈与論 桂大介さんと共にお話しさせていただきました。

当日の様子や、今後展開される寄付月間の様々な活動については、ぜひサイトやSNSをご覧ください。

<https://giving12.jp/>



コモンズ投信の寄付月間2023賛同企画イベントのご紹介

★クリスマスフェス2023 小学生親子対象

～12/9・10の2日間開催！コモンズ投信招待枠50名あり！～

約20のブースで、親子でアートやゲームが体験できるほか、NPOさんのブースで寄付体験を通して、社会課題をやさしく、楽しく学ぶことができます。

<https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=ihk72sjr6f1r&item>

★寄付の力を教えてください

～12/11 19:30～オンライン開催！第14回コモンズSEEDCap最終候補者が登場！～

今年春、SEEDCap第14回応援先最終候補者となった社会起業家2名がオンライン対談イベントに登場！「今、日本に暮らす子どもたちが抱える社会課題」、そしてその解決に取り組まれている活動についてお話をお聞かせいただきます。

<https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=ihkbl3gk31db&item>

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

パラ馬術大会をみんなで観戦&乗馬にチャレンジ 第2弾！

河野さまの解説のおかげで、見るべきポイントが分かりました。それがなかったら、ただ「馬ってきれい」だけで終わり、パラ競技としての特徴や大変さは分からなかったと思います。また乗馬体験も組み込んでいただけて最高でした！お昼も美味しかったですね♪（50代・女性）

こどもトラストセミナー「KUBOTA AGRI FRONT」で未来の農業を体験しよう！

食べ物の大切さを改めて認識する機会になった。子供たちにもそれを認識してもらいたいので、またこういった機会に参加したいと思った。

また、子どもはゲームに楽しく参加しておりました。（30代・男性）

子どもたちにとっても、わたしたちにとっても大切なことを気付かせてくれる内容でした。（40代・男性）

新NISAの活用方法

質問へ直接回答を頂けたところが良かったです。とても良く分かり、新NISAへの取り組み方が分かりました。また、熱心に説明されていました。（50代・男性）

説明が非常にわかりやすく、疑問に思っていた事が全て解消できました。また、お二人とも説明が明瞭で感じが良かったです。（60代・女性）

こどもトラストセミナー「いらなくなったバイクを「ほしい！」お客様に届けるために！～ザ・2020ビジョン投資先企業「株式会社バイク王&カンパニー」バイクを楽しもう～

子供たちがたのしめるように工夫されていたのが良かった。

最初は緊張していた様子ですが、バイク王の皆さんが話しかけて下さったのでだんだん慣れてきて楽しそうでした。バイクに乗るのをとても楽しみにしていたのでたっぷり乗れて喜んでいました。

たくさんの体験ができて子供も飽きることなく楽しめました。イベントに参加させて頂きありがとうございました。（40代・女性）

いろいろな体験ができて楽しかったようです。小さい子には長時間でしたが、疲れよりも楽しさが上回っていました！

実際にバイクに乗れることで楽しさを感じることができたようです。このような機会が増えてみんながバイクに興味を持てたらいいなと思います！（30代・女性）

コモنزの視点～企業のみカタ～ 任天堂のご紹介

任天堂の現在の強み、コモنزが期待しているこれからの可能性について知れたからよかったです。また、丁寧に解説してくれていました。（30代・男性）

ゲームだけではない、進化し続けている任天堂を知ることができたから良かった。

任天堂の方ですかというくらい、わかりやすくかみ砕いた伝え方をしてくださっており、聞きやすく、言葉がすんなり入ってきた。（30代・女性）

小5の子供が自分で選んで任天堂の1株株主なのですが、改めて企業分析するきっかけになって良かったです。

要点がまとまっていて、お話もわかりやすく聞きやすかったです。スライドに画像が多かったので、子ども向けではないと思いますが、小学生の子どもたちも興味を持って聞いていました。（40代・女性）



お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

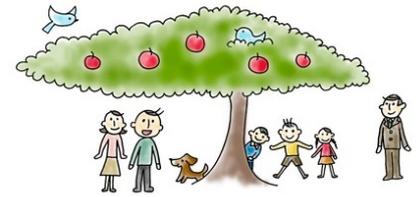
◆2023年11月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/oqfmkVlrZ68>

□クリスマスフェス2023 ～寄付月間2023賛同企画～

12月9日 (土) 13:00～16:00

12月10日 (日) 10:00～15:30



□寄付の力を教えてください 寄付月間2023賛同企画 ～第14回 commons SEEDCap 最終候補者が登場!～

12月11日 (月) 19:30～21:00

□親子のための! おかねの教室&教育費づくり

12月23日 (土) 10:00～11:30



□寄付月間2023キックオフイベント | わたしの寄付は社会のスキマを埋められますか

12月1日 (金) 19:00～21:00

□commonsの視点～企業のカタダイキンのご紹介

12月27日 (水) 20:00～20:30

□新NISAの活用方法

12月5日 (火) 20:00～20:30

□【オンライン | ソニー銀行主催】こども金融セミナー お金の4つの使い方～ほしい未来を創るには?～

12月28日 (木) 17:00～17:40

□アクティブ運用ってどうなの?

12月6日 (水) 19:00～19:30

□commons30塾 投資先企業「味の素(株)」をお迎えして ASVレポートを読み解く

2024年1月17日 (水) 19:00～21:00

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆

・「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

・モーニングスター・ファンド・アワードについて

アワードは、リスク調整済みの中長期的なパフォーマンス実績と、ファンドの将来に関するモーニングスターの評価 であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。アワードは毎年行われており、ファンドの1年間のパフォーマンスを重視するのは適切であると考えていますが、ファンドはリスクを調整後の3年および5年で高い相対リターンを達成している必要もあります。また、長期的にアウトパフォームし続ける潜在力についての将来的な評価を反映するため、モーニングスターのメダリスト・レーティングでポジティブ（金/銀/銅）の評価を得たファンドを選出の際に優先します。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティール証券株式会社※2	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者	四国財務局長 (金商) 第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第41号	○			
SMB C日興証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第191号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3283号	○		○	○
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
スルガ銀行株式会社※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第8号	○			
九州FG証券株式会社※1	金融商品取引業者 九州財務局長 (金商) 第18号	○			
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)※1	登録金融機関 九州財務局長 (登金) 第3号	○			
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)※1	登録金融機関 九州財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第19号	○			
株式会社香川銀行※2	登録金融機関 四国財務局長 (登金) 第7号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2009年1月19日
	信託期間	無期限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 VORT平河町II 5階 (旧 平河町Kビル)

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>